



ならし社協だより

第15号

JANUARY 2013

平成25年1月1日発行

新年明けまして
おめでとう
ございます。
本年も皆様と共に
地域のつながり作りを
進めてまいります。

つるまい団地
見守りネットワーク
「おしゃべりカフェ」より

発行：社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会
発行責任者：事務局長 上谷 勝
奈良市三条大路一丁目9番10号
TEL：0742-34-4758 FAX：0742-30-2323
E-mail：hureai@narashi-shakyo.com
URL：http://www.narashi-shakyo.com

奈良市社協 検索

目次

- 02 新年のご挨拶 奈良市社会福祉協議会会長
- 03 鳥見デイサービスセンター“ふらっと”の紹介
- 04 あなたのまちの地域福祉活動 佐保川地区社会福祉協議会
済美南地区社会福祉協議会
- 06 地域で光る スポーツを通じた社会参加 竹中宏幸さん
- 07 施設のご案内 鳥見デイサービスセンター“ふらっと”
- 08 お知らせ 笑って納得！成年後見制度

新年のご挨拶

社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会
会長 福井 重忠



皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
旧年中は、当協議会の活動に深いご理解と温かいご協力を賜り、ありがとうございました。
今年も、変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

さて、去年は、西部エリアにおける地域福祉活動の拠点となる「鳥見デイサービスセンター“ふらっと”」を開設するとともに、介護認定調査等の新規事業に取り組むなど、法人として新たな試みを積極的に進めた1年でありました。

一方、今日、社会経済環境の変化に伴い、経済的困窮や社会的孤立等の課題を抱える人々の急激な増加が、新たな社会問題として深刻化する中、これらに相応する支援の在り方が、社会福祉協議会にも問われようとしております。

当協議会といたしましては、市民の皆様との協働・連携を促進し、更なる「地域力」の強化を図ることにより、新たに生み出されるこれらの課題の解決に向け、積極的に取り組んでまいり所存でございます。

誰もが安全、安心で心豊かに暮らせるまちづくりに向け、取り組んでまいりたいと存じますので、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

鳥見デイサービスセンターオープニングセレモニーの様子

マスコットキャラクター
ふらっとりーちゃん

鳥見デイサービスセンター“ふらっと”がオープンしました

鳥見デイサービスセンター“ふらっと”が平成24年10月1日にオープンしました。
当センターは、介護保険デイサービスだけでなく奈良市西部地域での奈良市社協事業及び住民活動の拠点です。

福祉活動の支援拠点

地域住民の方々が福祉活動に取り組むにあたっての身近な相談窓口として様々な住民福祉活動の支援に取り組んでいます。

- 地域活動に関する相談への対応
- 地域活動室の利用（無料・要予約）
- ボランティア保険の受付
- サロン・レクリエーション用具等の貸し出し

このほか既存の福祉サービスや福祉活動では対応が困難な課題への新たな仕組み・活動づくりなど、地域福祉活動に関する様々な取り組みを行っています。



地域のボランティアグループ等の会議（地域活動室）

音楽療法の発信

“ふらっと”では音楽療法を取り入れた通所介護事業（デイサービス）を実施しています。音楽療法をデイサービスのプログラムのひとつとして実施するだけでなく、音楽活動室を活用して、音楽療法のさらなるサービスを実施していく予定です。



音楽療法体験（音楽活動室）

安心の居場所づくり

“ふらっと”の存在が皆様にとって日常生活の一部として利用していただけるような取り組みを行っています。

- 地域交流室
デイサービス利用者が利用するだけでなく、地域住民との交流を行うなど、誰でもふらっと立ち寄って利用していただける多目的なスペース（地域交流室）をデイサービス内に設けています。“ふらっと”職員もいますので、お気軽にお立ち寄りください。
- 日常生活に関するよろづ相談
困りごと・心配ごとの相談を受け、一緒に解決の和を考えます。
- ケアマネジャーによる介護相談
介護に関する悩み、介護保険の利用に関することなど、ケアマネジャーによる専門相談も行っています。



“ふらっと”楽しむ広場（地域活動室）



デイ利用者と住民による畑づくり

このほか、地域住民間交流や世代間交流を目的とした様々な催し「“ふらっと”楽しむ広場」も実施しています。音楽療法体験や敷地内スペースを利用した畑づくり、福祉学習会、健康講話、軽スポーツなど様々な内容のものを用意しており、年齢や障がいの有無に関係なく誰でも安心して参加・交流できるものとなっています。

このように“ふらっと”では、サービス・福祉活動・音楽療法を融合させた多機能施設として、音楽でつながる福祉のまちづくりを目指しています。

“ふらっと”の運営方針

- ① 子どもからお年よりまで気軽に立ち寄れる「地域の居場所づくり」を通して、笑顔あふれる交流を深めます。
- ② 誰もがいきいきと心豊かに過ごせるように、地域活動や音楽療法等を取り入れた地域共同ケアをすすめます。
- ③ 住民主体により取り組まれている多様な地域活動の支援強化を図るため、保健・医療・福祉等の幅広い関係機関、組織との協働をすすめます。

※アクセスや開館時間・連絡先等その他詳細につきましては7ページをご覧ください。

佐保川地区 社会福祉協議会

今回で第5回目を迎える佐保川地区防災訓練では、災害時における要援護者支援をテーマに障がい疑似体験と車椅子体験を盛り込まれました。その思いと地区社協の役割を佐保川地区社会福祉協議会会長の橋本正路さん、佐保川地区自主防災防犯会会長の金野秀一さん、副会長の中田尚克さんにお話をお伺いしました。

代表参加型から住民参加型の防災訓練へ

佐保川地区では3年前に防災マップを作成し各家庭に配布しており、地域の皆さんにもっと防災の意識を高めてもらい、自分が被災した時のことを考える場の一つとして防災訓練の内容も工夫されています。今までは各自治会の代表者が救助訓練や消火訓練を行っていたそうですが、「参加者全員が体験できるような訓練内容にしたい」との金野自主防災防犯会会長の熱い想いがあり、今回は一条高校に避難してきた地域住民全員に災害時要援護者体験をしていただきました。当協議会としても、障がい疑似体験用具の装着とその誘導や、車椅子を介助しながら障害物コースを進んでいく体験のお手伝いをさせていただきました。



▲ 橋本地区社協会長



▲ 右：金野自主防災防犯会会長
左：中田自主防災防犯会副会長

実際に体験してわかること

「こりゃあ、『急いで逃げて』って言われへんなあ。」実際に車椅子体験を終えられた参加者からの感想です。初めて車椅子を利用したり、障がい疑似体験用具を装着される方が多い中、ちょっとした段差や坂道で車椅子が進まなくなり立ち往生してしまった時に、参加者で声を掛け合ったり、介助者が自然と歩調を緩めて誘導する姿が多くみられました。参加されていた聴覚障がいのある方からは「訓練に参加するのは不安でしたが、手本などがあって内容も理解できたので、参加して良かったと思っています。聴覚障がい者は見た目ではわかりにくいので、参加者から一目見て気づいてもらえる工夫や手話通訳などがあれば、訓練にもっと参加しやすくなりますね。」と感想をおっしゃっておられました。



▲ 車椅子体験の様子

「共助」を「近助」に。ご近助力を高め合う 災害に強いコミュニティづくり

最後に金野会長からは、「最近、自助・共助・公助という言葉が耳にしますが、共助は『近助』ではないかと思うんです。『近所』という言葉をもっているのですが、やはり災害時において特に大切なのが、向こう三軒両隣のつながりを活かした『近助』。このご近所力をつけるための日常のつながりがいかに大事かを改めて感じています。」とお話いただきました。また橋本会長からは、「災害時における要援護者支援が課題となっていますが、そのための地域のつながりづくりも社協の役割だと思っています。それは災害が起きたときのためではなく、平時からのつながりづくりの方法の一つとして防災訓練があり、『防災』というキーワードがあると思っています。」とお話いただきました。

あなたのまちの地域福祉活動

主旨 今年、内閣府では巨大地震の想定見直しがあり、また県内でもゲリラ豪雨の被害が多発する等、私たちは自然災害に対する備えを十分に進めていく必要があります。そんな中で、災害時に自力で避難出来ない方々への配慮をどうしていくのか模索が続いています。

今回の「あなたのまちの地域福祉活動」では、要援護者支援を念頭においた、地域での防災訓練を行う2地区取材しました。



実際に体験してわかること

歩行困難者の避難支援プログラムは春日・飛鳥地域包括支援センターや岡谷病院の理学療法士、当協議会の協力・連携のもと実施されました。今回の訓練は「一人で避難できない人を助けようと思っても、助ける為の方法が分からないと、共倒れになってしまう」という地区の防災士の声から考案されたプログラムで、歩行困難者をベッドから車椅子へ移乗するための移乗介助の体験を目的としています。

当日の訓練で実際に体験された女性防災クラブの方々からは、「移乗までの一つの動作が細かくて、やってみると意外と大変でした。何回か繰り返しやってみないと身につかないと思います。」「身体の痛さ等を表現できない人や、本当に寝たきりの人だと、今日よりもさらに大変なんだろうなと感じました。」

「1時間足らずの訓練で、時間が短かった。もっとしっかり技術を身に付けるためにブロック単位でも訓練に取り入れてもらいたいです。」等のお話がけきました。



▲ 移乗介助訓練の様子

より身近なところで実施される防災活動

済美南地区では、災害時に1カ所の防災拠点だけではその機能が発揮できないということで、地区を4つのブロックに分け、ブロックごとに防災倉庫の設置・管理や防災活動の企画・実施をされています。その中心となっているのが各ブロックに配置されている防災士で、地区では防災士の資格取得に対し援助を行ってられます。今回の歩行困難者の避難支援プログラムも、今後、各ブロックへ波及することがねらいでもあります。「身近なところで、育まれた人間関係が“絆”となり、地域の福祉力を高めていきます。要援護者だからということではなく、地域住民全体が支えあい、助け合う取り組みとして、これからも防災活動を続けていきたいと思っています。」と西上会長は話されました。

地域で光る

スポーツを通じた
社会参加

竹中 宏幸さん
(27)



主な競技の成績

- ★第4回奈良県スポーツ大会
—1,500m 優勝
- ★第5回奈良県スポーツ大会
—1,500m 優勝
800m 優勝
- ★第5回全国障害者スポーツ大会
—1,500m 5位
— 800m 5位

障がい者スポーツの拠点である奈良市総合福祉センター体育館の利用者で、仕事と趣味のスポーツを通して社会参加を行っている竹中宏幸さんを紹介いたします。

★普段の生活は？

現在市内で両親と暮らしています。仕事は大手スーパー荷受場担当で、早朝より大小さまざまな商品管理をしています。午後勤務終了後、スポーツ大会出場の為トレーニングを兼ねて自宅方面（5～6キロ）までランニングで帰ります。

★陸上競技の魅力は？

奈良県立高等養護学校2年生のときに体育の先生に進められたのが陸上競技を始めたきっかけで、クラブで練習を重ねるごとに体力もつき記録ものびました。今では、走ることが日々の生きがいとなっており、走り終えた後の爽快感がたまらないです。

★休日の過ごし方は？

大会に向けてトレーニングジムで筋力アップに励み、自宅周辺でジョギングをして常に「走れる体づくり」に取り組んでいます。また走る姿をみた顔見知りの近所の小学生からコーチ依頼を受けて時々指導しています。彼らが大会でメダルを取るような選手に育つことを期待しています。体育館ではバドミントン教室や陸上教室に参加して、新しい仲間との出会いや情報交換するのが楽しみです。



★将来の夢は？

奈良県障害者スポーツ大会の800m及び1,500mで大会新を出して優勝したいと思っています。また、陸上を通じてさまざまな人とふれあうことにより障がいを理解してもらい、走ることの楽しみを広めていきたい。体力の続く限り走り、将来的には陸上の指導者として活動してみたいと思っています。

ふらっと施設案内図



- ①近鉄富雄駅から徒歩（3番のりば）「富雄団地循環」行き 乗車約6分「ショッピングセンター前」または「富雄団地管理事務所前」下車 徒歩約3分
- ②自動車（近鉄富雄駅より）「とりみ通り」（富雄公民館前）の信号を右折

お詫び

※第14号で紹介させていただきました「ふらっと」の電話番号が間違えておりました。ご覧いただいた方には大変ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

☆地域活動室をご利用される際は事前予約が必要となりますので、下記までご連絡ください。

住所 〒631-0061 奈良市三碓町2204番地（旧鳥見幼稚園跡地）

問合せ ●音楽療法・地域支援、地域活動室

月曜日～金曜日 9時～17時

電話 0742 (93) 3741 Mail ongakusilver.ocn.ne.jp

●デイサービス、地域交流室

月曜日～土曜日 8時～17時45分

電話 0742 (93) 3731 Mail torimi-flat@kcn.jp

医療法人 拓生会

内科（消化器・循環器・呼吸器）、外科、整形外科、神経内科
リハビリテーション科、肛門科、脳外科、皮膚科、放射線科、麻酔科
【その他】人間ドック、特定健診、特定保健指導、一般健診、予防接種



奈良西部病院

理事長 櫻井 立良

奈良市三碓町2143-1（帝塚山大学 東生駒キャンパス向かい）

TEL 0742-51-8700 http://www1.kcn.ne.jp/~nk-c-hp/

診療時間：午前9時～12時まで 午後1時～4時まで

備考：皮膚科・脳神経外科については診療日が限られています

土曜日は午前中のみです

日・祝日の外来診療は休診です 但し、急患はこの限りにあらず

- 養護老人ホーム
- 特別養護老人ホーム
- ケアハウス
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

社会福祉法人 奈良市和楽園

〒630-8424 奈良市古市町1886番地の1
TEL (0742) 63-5500 (代) FAX (0742) 63-6051

旗・応援幕・カップ・バッジ
株式会社 野崎旗店

TEL.0742-23-1343 FAX.0742-27-3760

E-mail: hata@nozaki.net

HP 野崎旗 で検索！

確定申告・相続・開業支援

税金各種・相続・開業支援・資金調達・登記・
保険代理業務・金利過払いのご相談など

奈良の地で開業80年の実績。皆様さまざまな疑問・ご要望に「総合力」で誠実にお応えいたします。

森田務公認会計士事務所 TEL 0742-22-3578
森田功司法書士事務所 FAX 0742-27-1681

実無質料

手数料が翌月末に返ってくる。
ATMお引出し手数料全額還元サービス【おかげさまで】

お申込みのお問い合わせは
近畿労働金庫 奈良支店

☎0742-36-2100 good!

- 曜日、時間に関係なくお引出し手数料は実質無料
- セブン銀行など下記にある全国のATMお引出し手数料は無料！

全国ろうきん・提携先金融機関
ゆうちょ銀行・セブン銀行
イオン銀行・コンビニなど

利用回数に制限はありません

介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい。

奈良市を中心に、医療、ケアハウス、特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、在宅サービス等を展開する社会福祉法人です。

らくじ会グループ

社会福祉法人 楽慈会 TEL 0742-25-3550 http://s-rakuji.com

株式会社 楽慈会 TEL 0742-24-4165 らくじ 検索

らくじ会グループ一覧 平成25年4月 グループホーム開設予定

- らくじクリニック 奈良市南新町19-1 TEL 0742-26-4165
- 特別養護老人ホームらくじ苑 奈良市八条5丁目437-11 TEL 0742-30-1800
- ケアハウスらくじ苑 奈良市南京終町13-4 TEL 0742-25-3550
- 介護付有料老人ホームなら白寿苑 奈良市法蓮佐保山1丁目8-30 TEL 0742-24-4165
- 介護付有料老人ホームらくじ苑大和南大寺 奈良市西大寺南町2371-1 TEL 0742-49-4165

社協会員募集

本会では住民相互の支え合い活動の支援をはじめ、住民個々の生活上の悩みや相談への対応、介護保険・障がい福祉サービスの提供など、奈良市にお住まいの方々の福祉の増進に取り組んでおります。本会の取り組みに一人でも多くの方にご賛同いただき会員拡充につながればと思っています。よろしく願い致します。

- ①個人会員
年間1口 1,000円
- ②施設・団体会員
年間1口 5,000円
- ③賛助会員（企業等）
年間1口 10,000円

..... 問い合わせ先
総務課 0742-34-4758

笑って納得! 成年後見制度 いまからできること

▶ 成年後見制度について、吉本芸人と学生が演じる寸劇と専門家（弁護士）による解説を交えて、わかりやすくご説明します。

【出演者】



テンドラー

林家笑丸

スマイル

- ★ 事前申込みが
必要です!
- ★ 参加費は無料!
- ★ 手話通訳付!

日時 平成25年2月9日(土)
14:00~16:00(開場13:30)

会場 西部会館学園前ホール
(近鉄学園前駅駅前)

【解説】西村香苗 弁護士

申込み

住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、往復はがきにてご応募ください(定員300人になり次第締め切ります)
(視覚障がいの方のみ電話での受付可)

申込み・問合せ先

奈良市社会福祉協議会 地域福祉課
〒630-8013 奈良市三条大路一丁目9番10号
☎0742-30-2525

主催：奈良市社会福祉協議会 後援：奈良市 協力：帝塚山大学

編集 後記

自然災害はその地域に住むすべての人に等しく降り懸かりますが、命の助かる確率はそうではありません。2011年に発生した東日本大震災ではたくさんの方が亡くなりましたが、障がい者手帳所持者の死亡率は全住民死亡率の2倍以上であったという説もあります。

災害はいつ起こるか分かりません。災害が起こったその時に、自力での避難が困難な人を見つけるのは非常に難しいことです。より多くの方の命や生活を守るためには、日頃からの近所づきあいや助け合いが非常に大切であると思います。

(編集委員 M)

ご高齢の方や、障害をお持ちの方で歩行困難などで治療院に通いづらい方

訪問鍼灸マッサージ ～今お持ちの健康保険証が使える～ 鍼灸・マッサージ
ゆうとぴあ。 **ご自宅まで訪問いたします!**



脳疾患の後遺症があるのですが、病状もよくわかってくれる先生で、話もよく聞いてもらっています。

糖尿病で人工透析を受けていますが、訪問マッサージは便利です。透析のスケジュールに合わせてもらいながら、毎週3回お願いしています。

利用者さまのお声

夜中のトイレの介助がなくなり負担が減りました。

ぐっすり眠れるようになりました。

わたしは、保険負担1割なので1回340円～580円程度です。負担が少なくて、しかも家まで来てくれてありがたいです。

ゆうとぴあグループでは1年間延べ2万人の施術実績

安心と安全と信頼の実績



訪問鍼灸マッサージ 株式会社 日本在宅サービス

訪問鍼灸マッサージ ゆうとぴあ
〒631-0041 奈良県奈良市学園大和町2丁目84
TEL/0742-81-3132 FAX/0742-81-3112
HP <http://www.nihonzaitaku.com/>

無料お試しマッサージのお申込みは
0120-977-207

訪問時間 朝9時～夕方6時

休診日 日曜日・お盆・年末年始